

← NE

SW→



写真⑨

← E

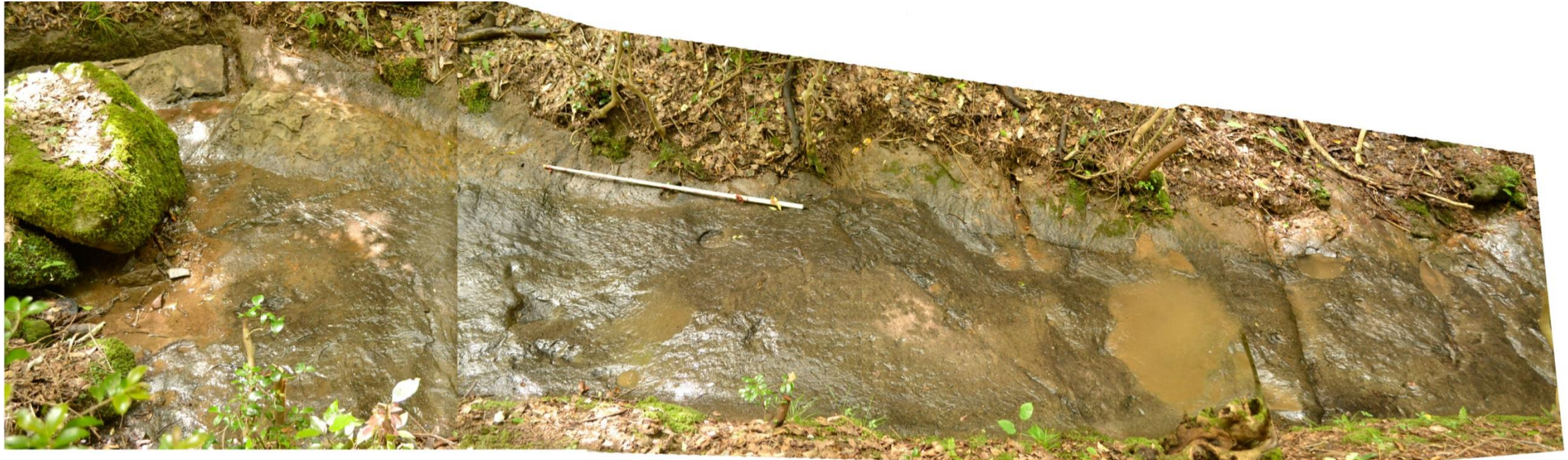
W→



写真⑩

←E

W→



写真⑪



写真⑫

←E

W→



写真⑬



写真⑭



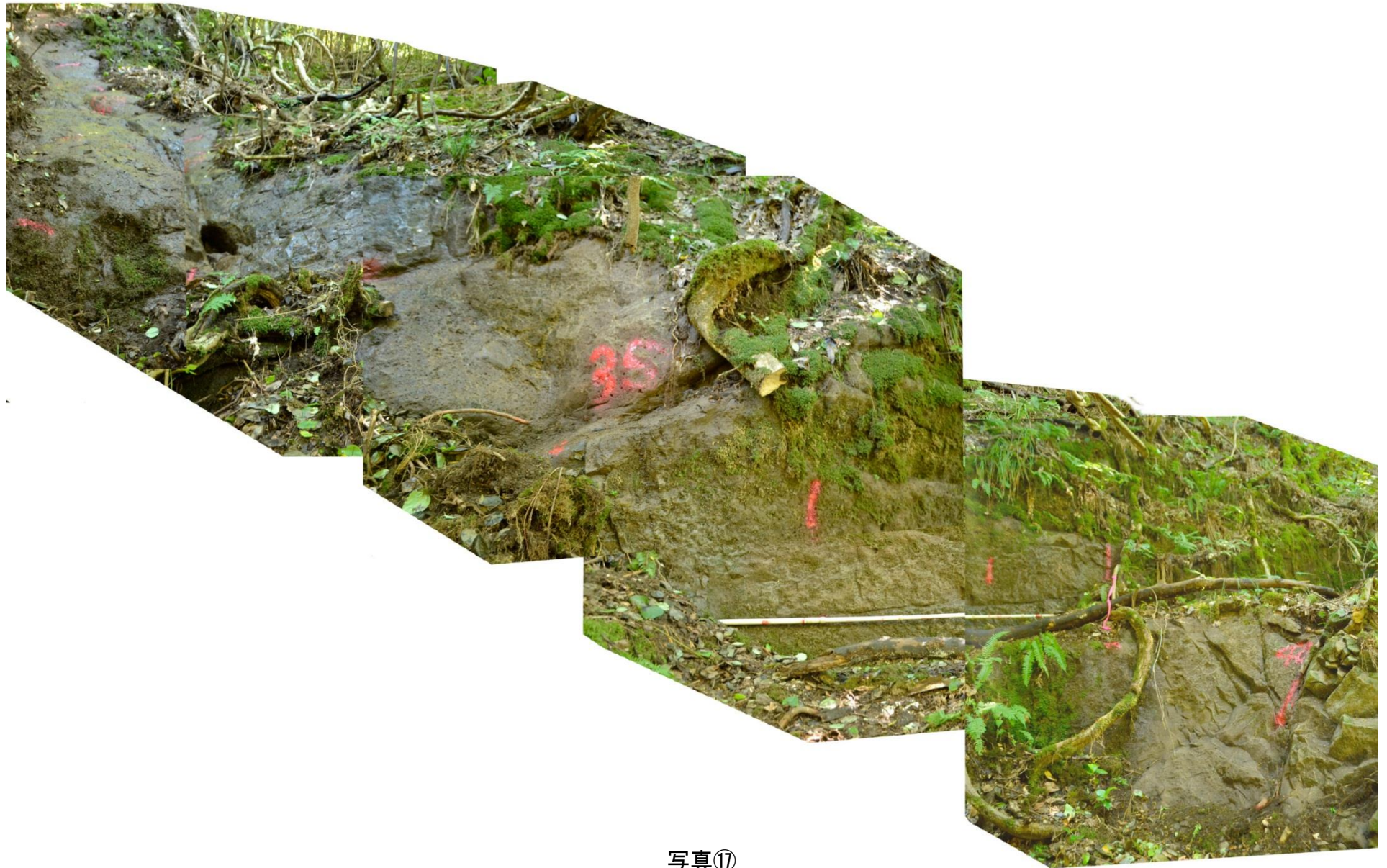
写真⑮

←SE

NW→



写真⑬



写真⑰

←E

W→



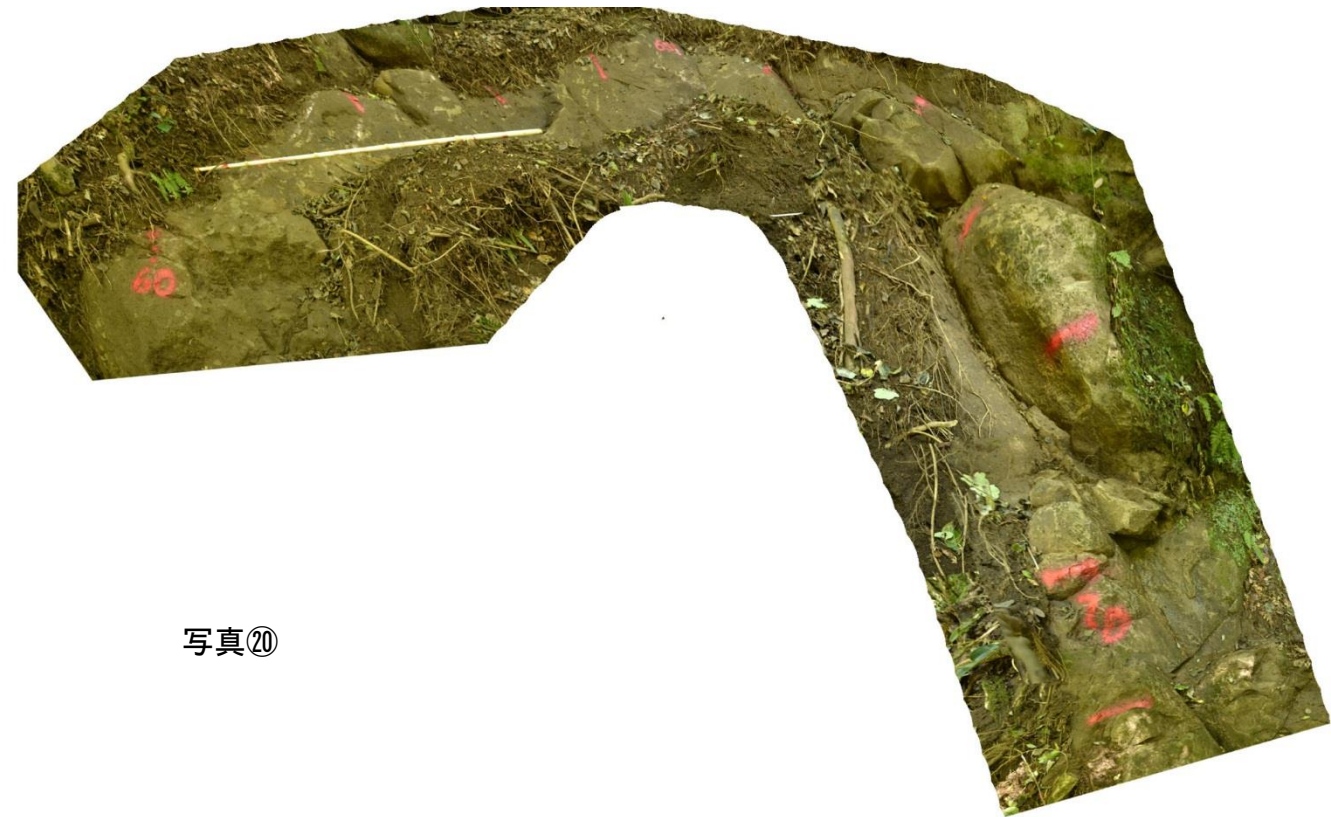
写真⑱



写真⑲

←E

W→



写真⑳



写真㉑

←E

W→



写真②②

←NE

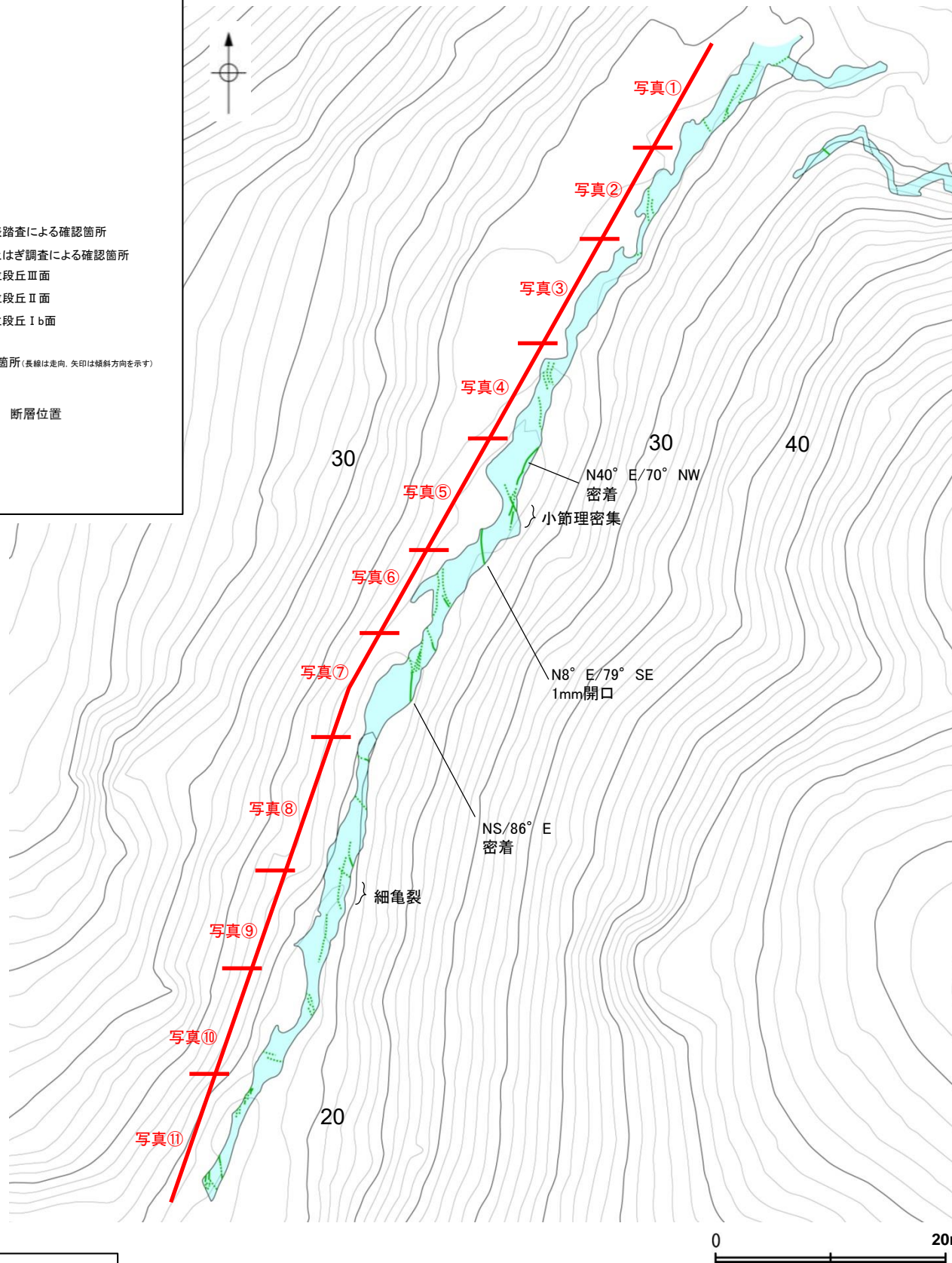
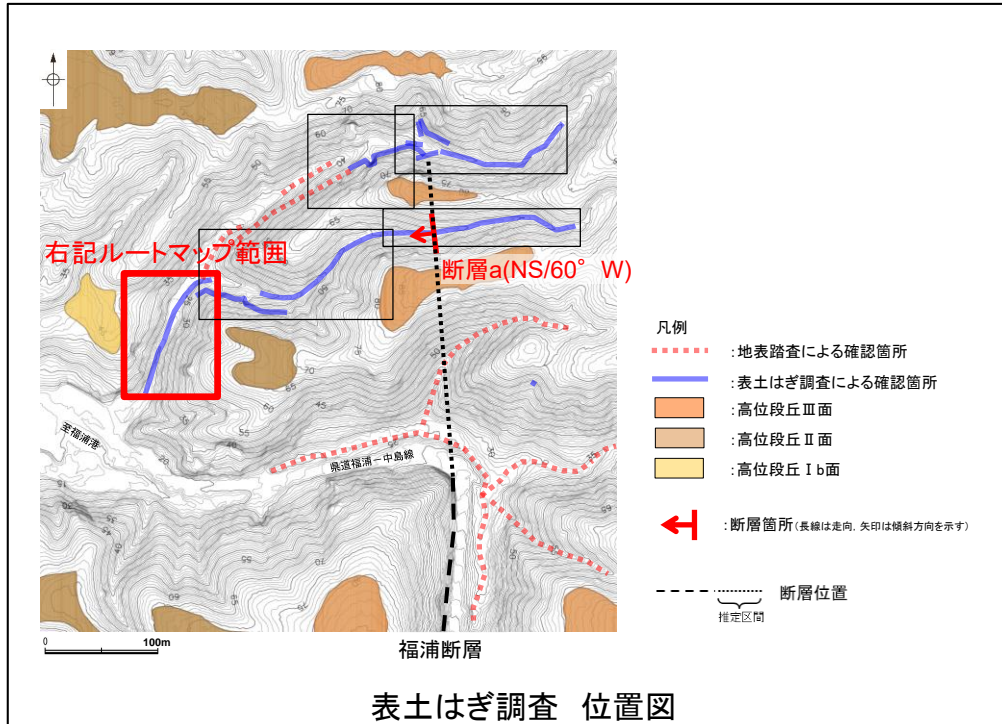
SW→



写真㉓



写真㉔



・福浦断層に対応する断層は認められない。

表土はぎ調査結果(ルートマップC) 写真位置図

← NE

SW→



写真①



写真②

← NE

SW→



写真③



写真④

← NE

SW→



写真⑤



写真⑥

← NE

SW →



写真⑦



写真⑧

← NE

SW →



写真⑨



写真⑩



写真⑪

←NE

SW→



写真①



写真②

←NE

SW→



写真③



写真④

←NE

SW→



写真⑤

←E

W→



写真⑥

←W

E→



写真⑦



写真⑧



写真⑨

← W

E →



写真⑩



写真⑪

← NW

SE→



写真⑫



写真⑬

← E

W→



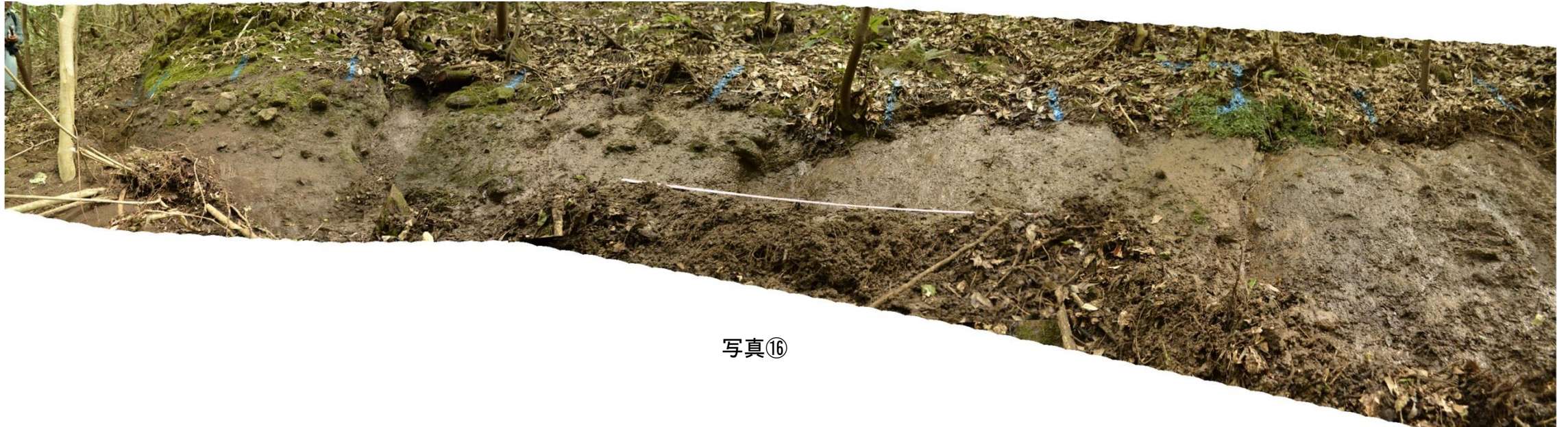
写真⑭

← NW

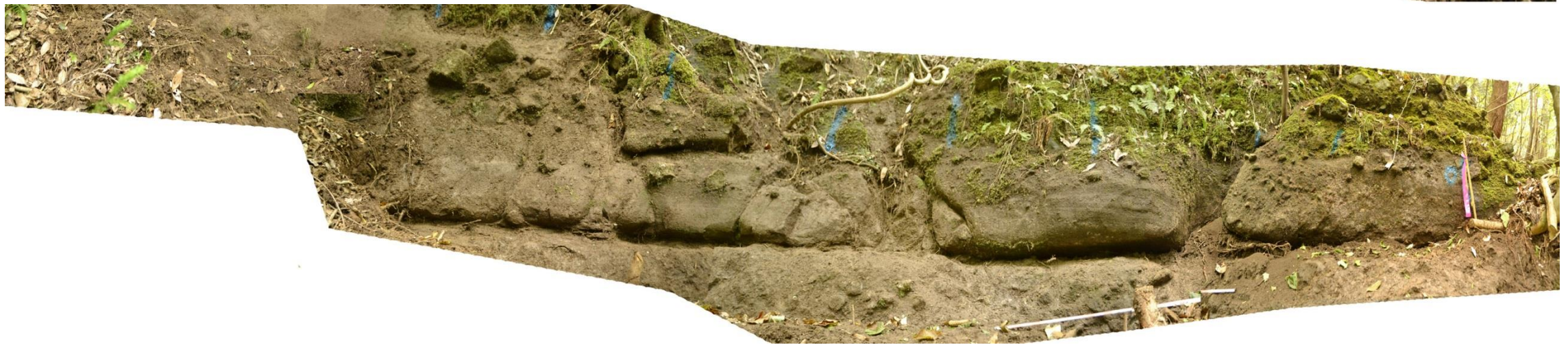
SE →



写真⑮



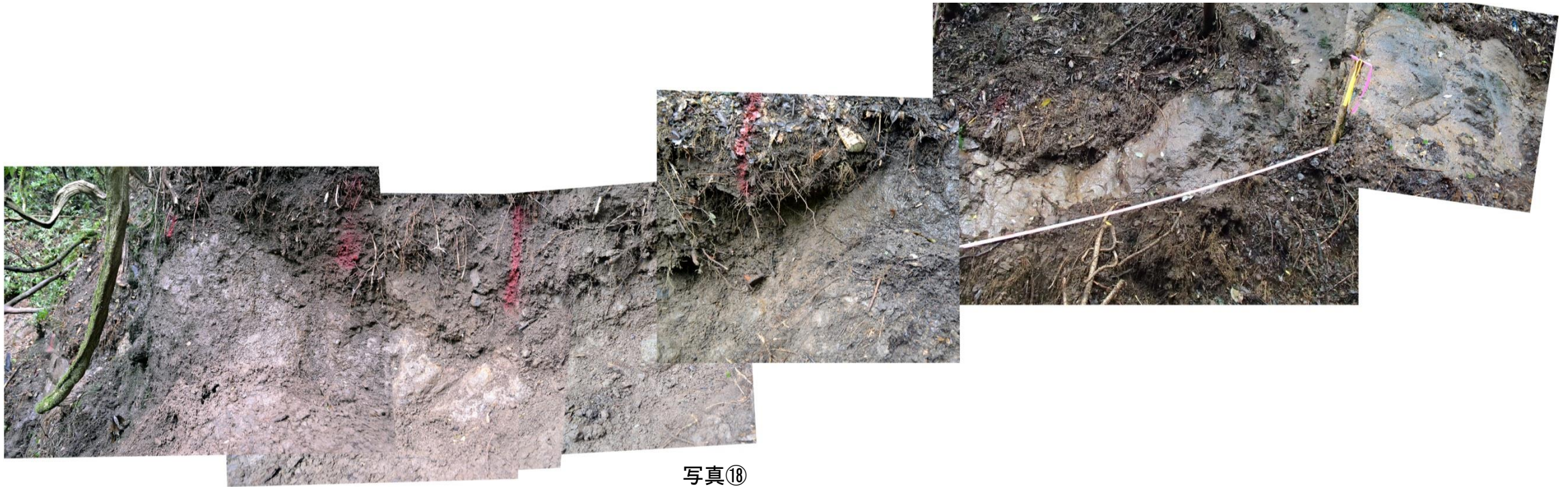
写真⑯



写真⑰

← W

E →



写真⑱

← NW

SE →



写真⑲

← N

S →



写真⑳

← SE

NW→



写真㉓

← E

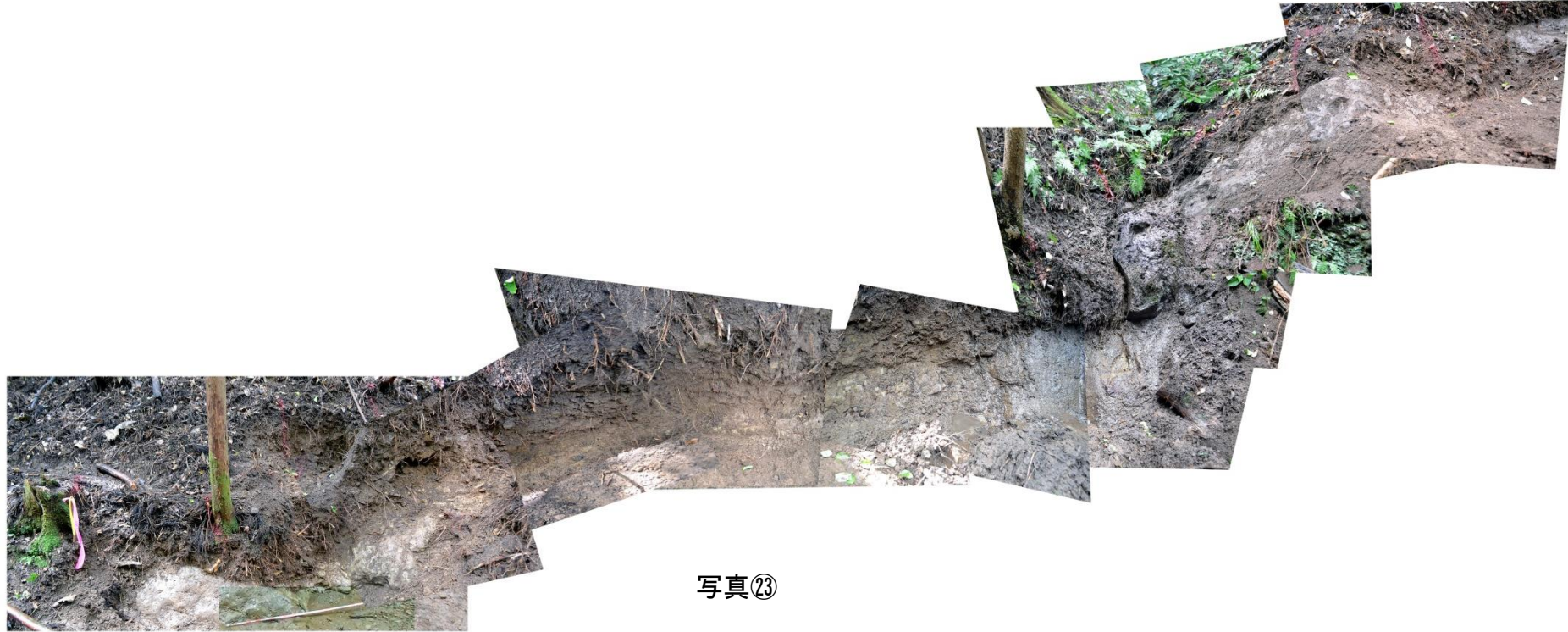
W→



写真㉔

← NE

SW→



写真㉓

← E

W→

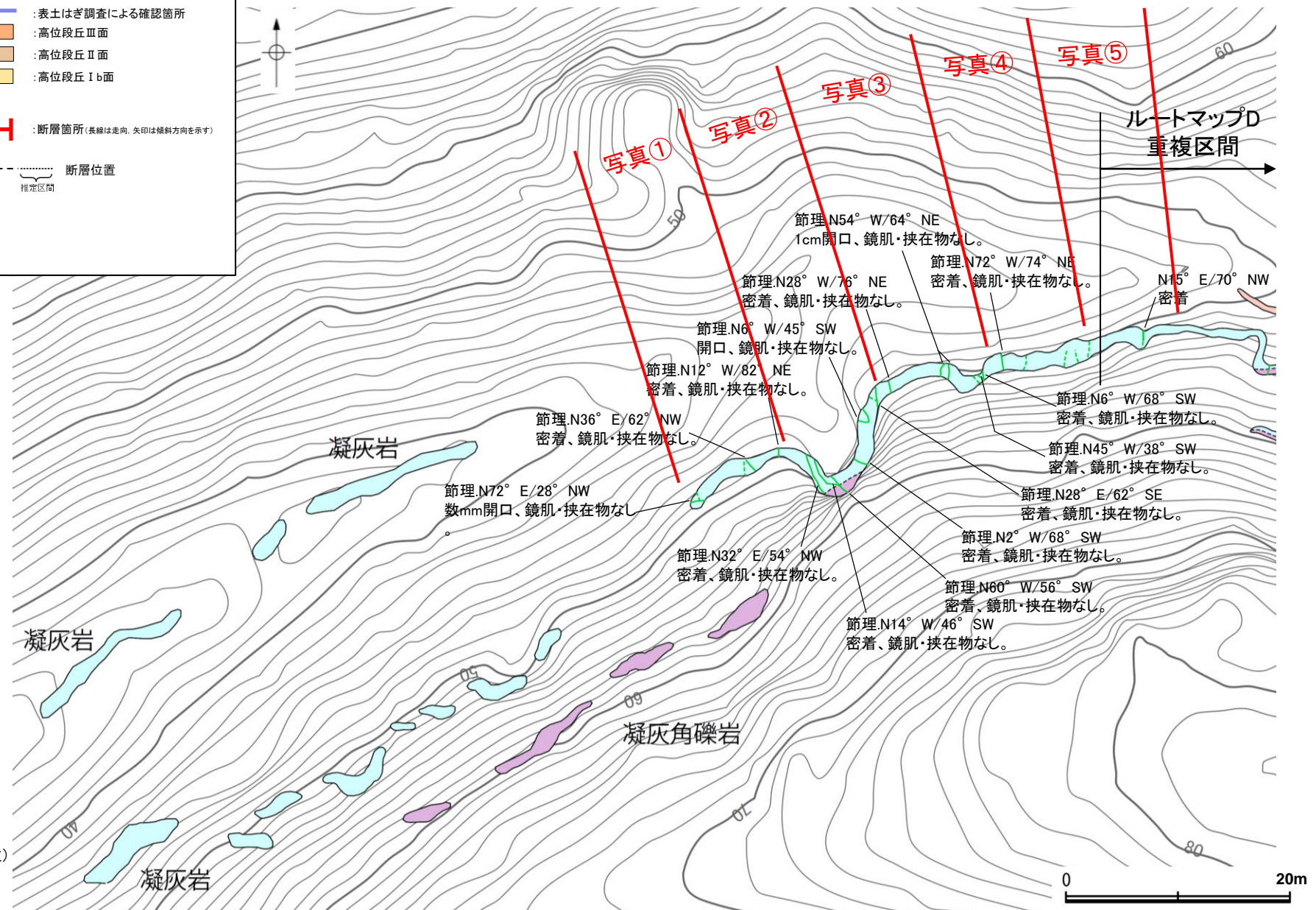
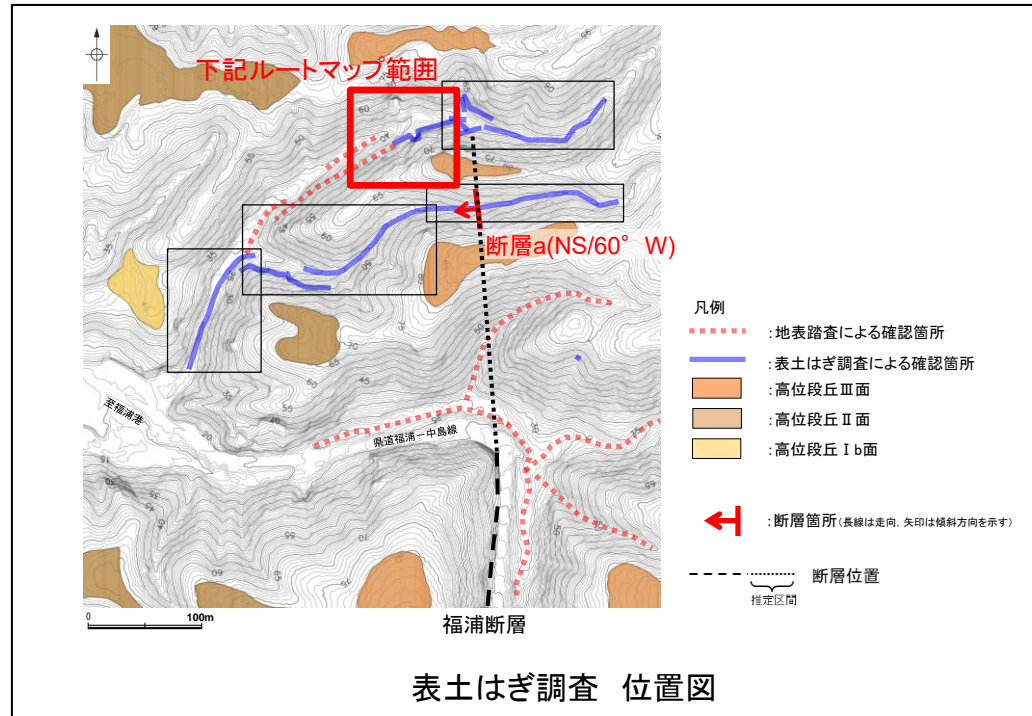


写真㉔



写真㉕

○表土はぎ調査(ルートマップE)の結果, 本調査範囲内には断層は認められない。
○全線の写真を次頁以降に示す。



表土はぎ調査結果(ルートマップE)

←E



写真①

←E



写真②

←E

W→



写真③

下写真 撮影方向



←E

W→



写真④

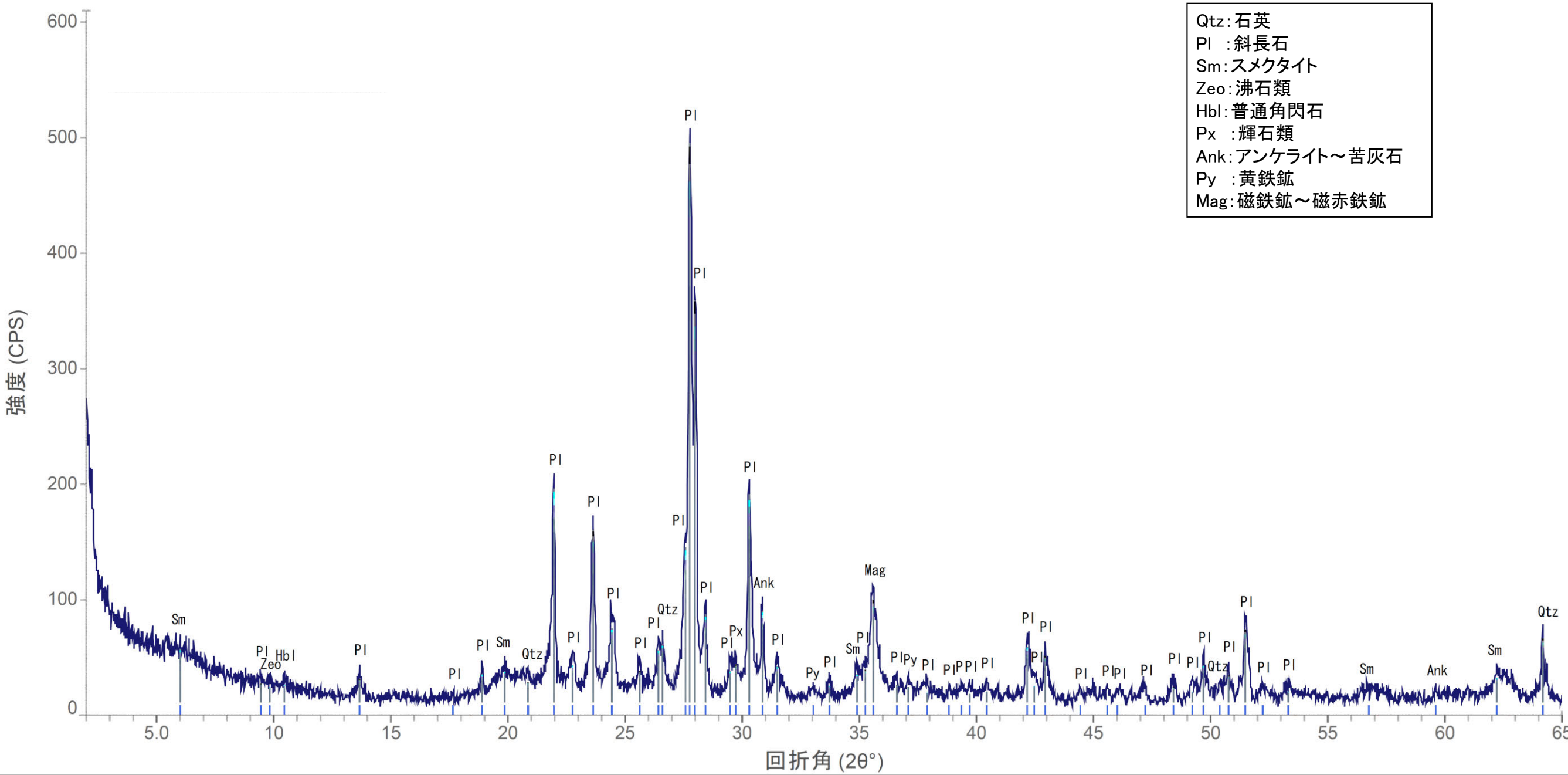
←E

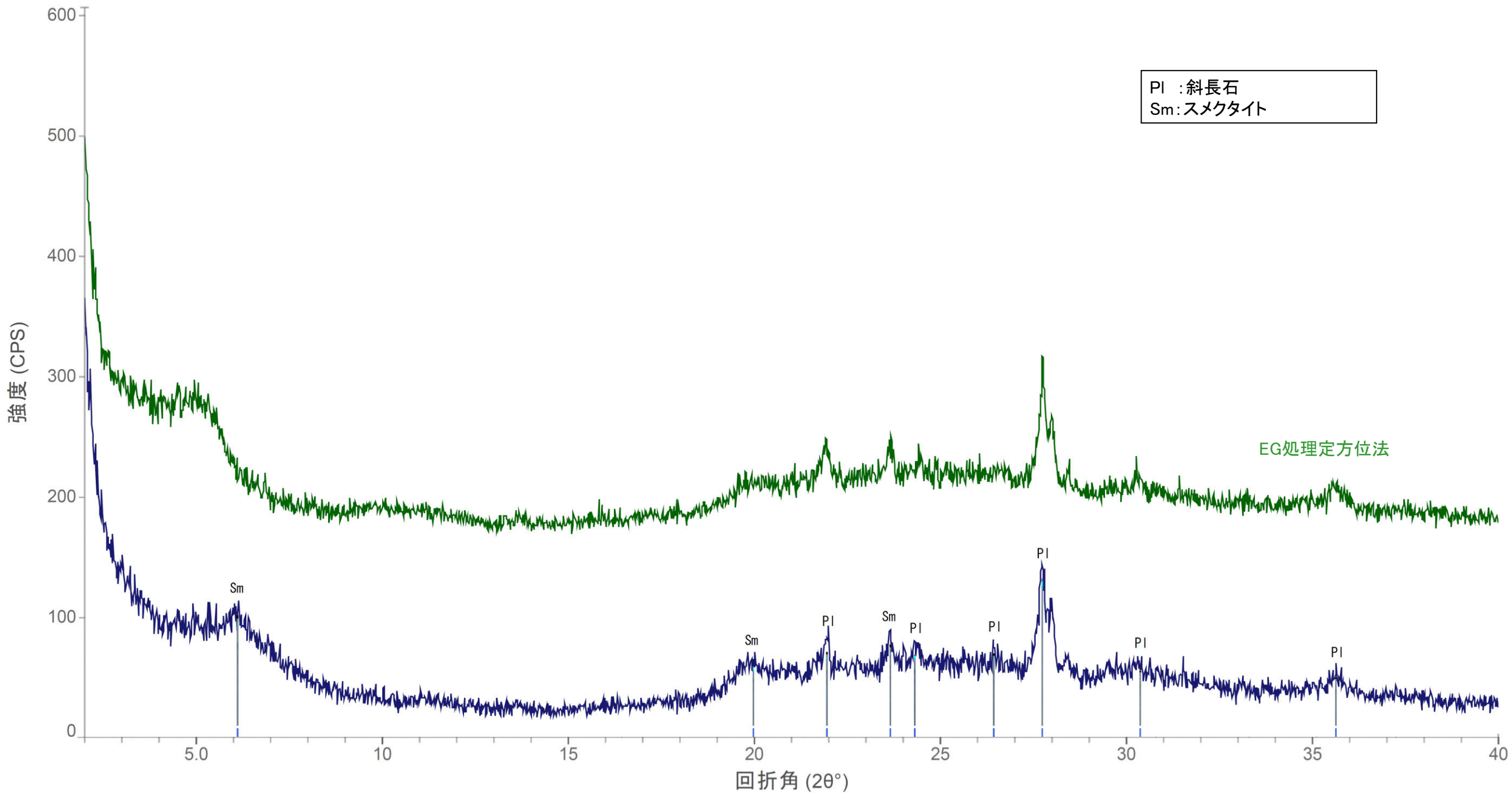


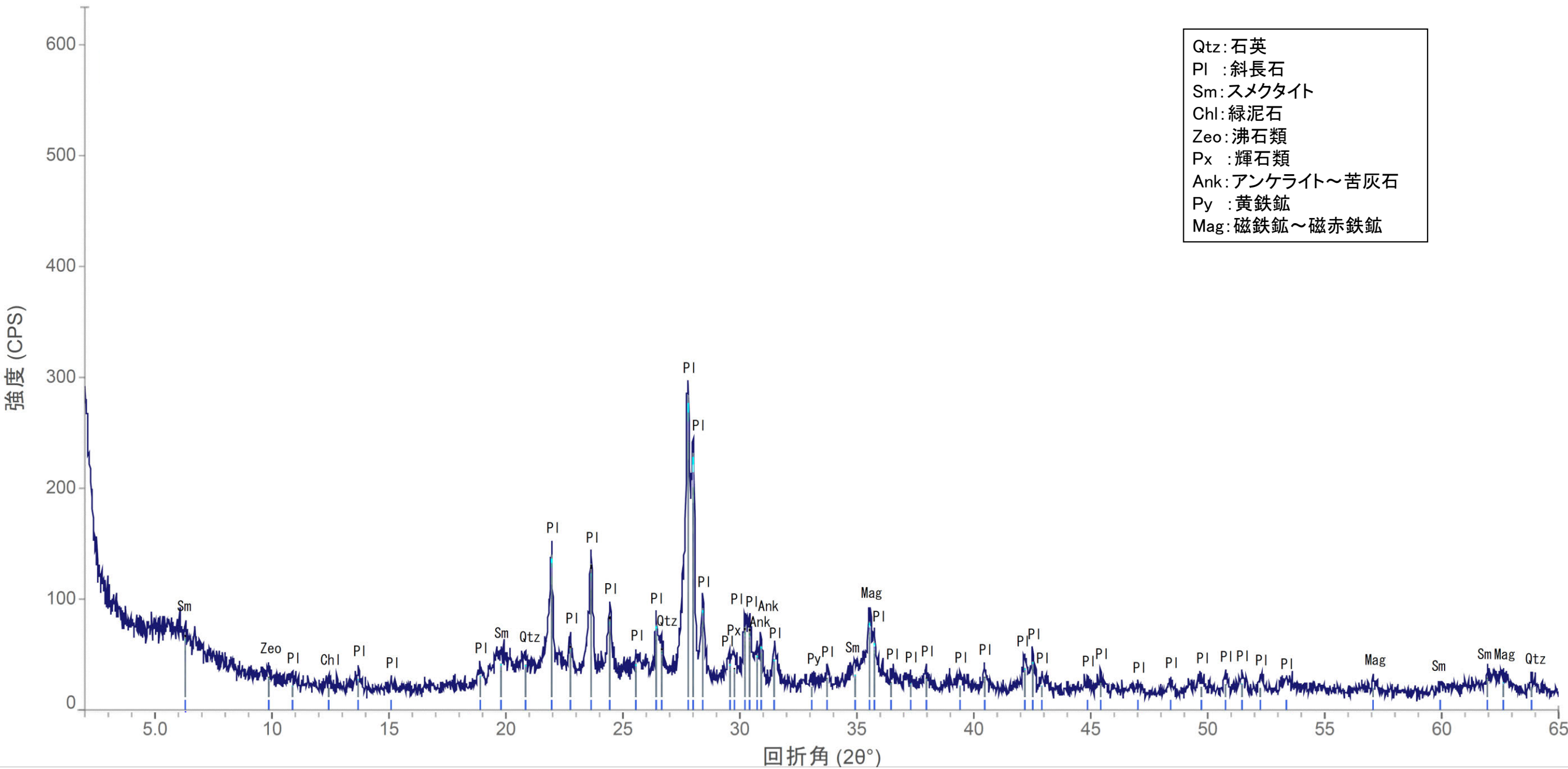
W→

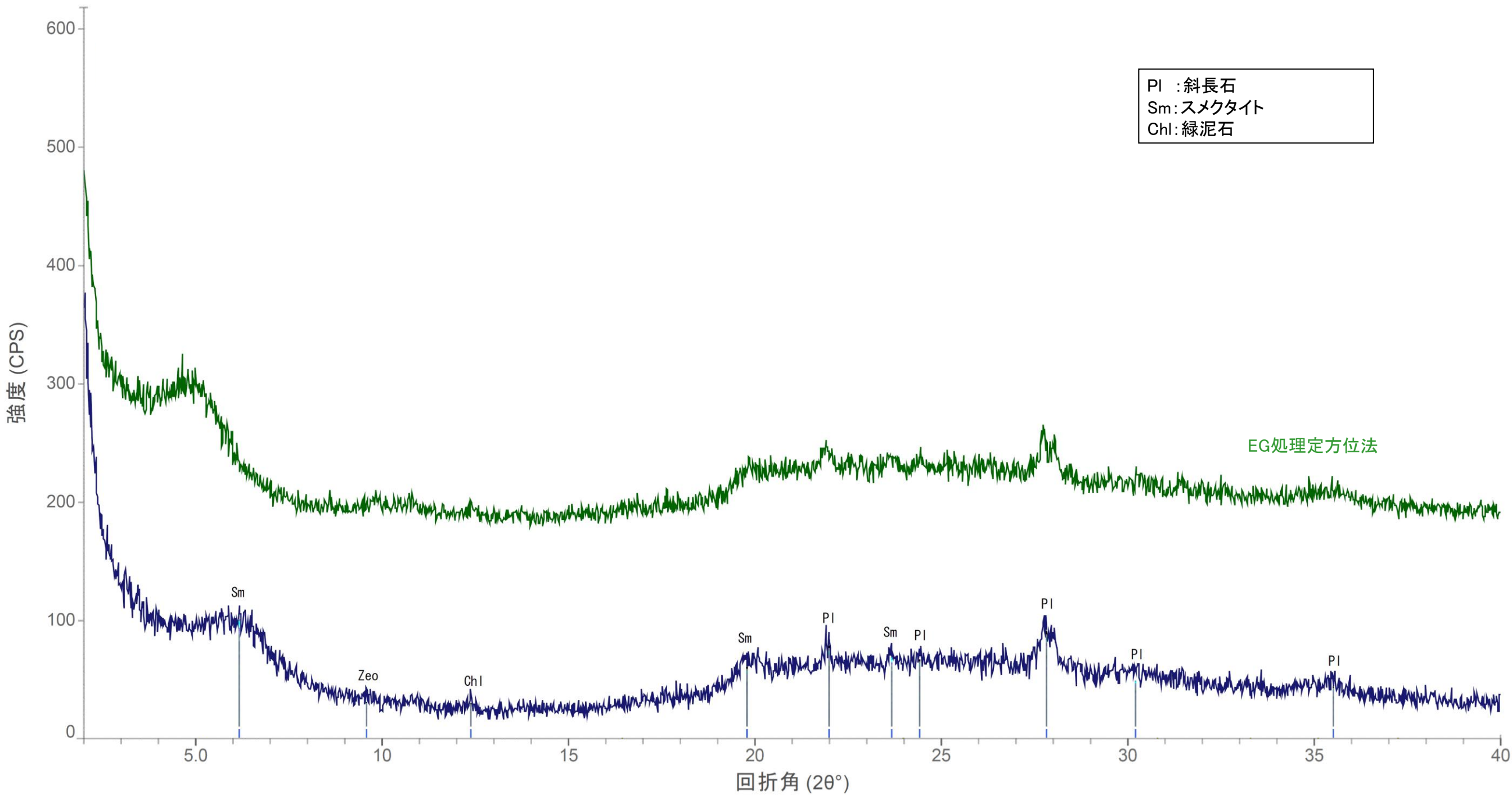
写真⑤

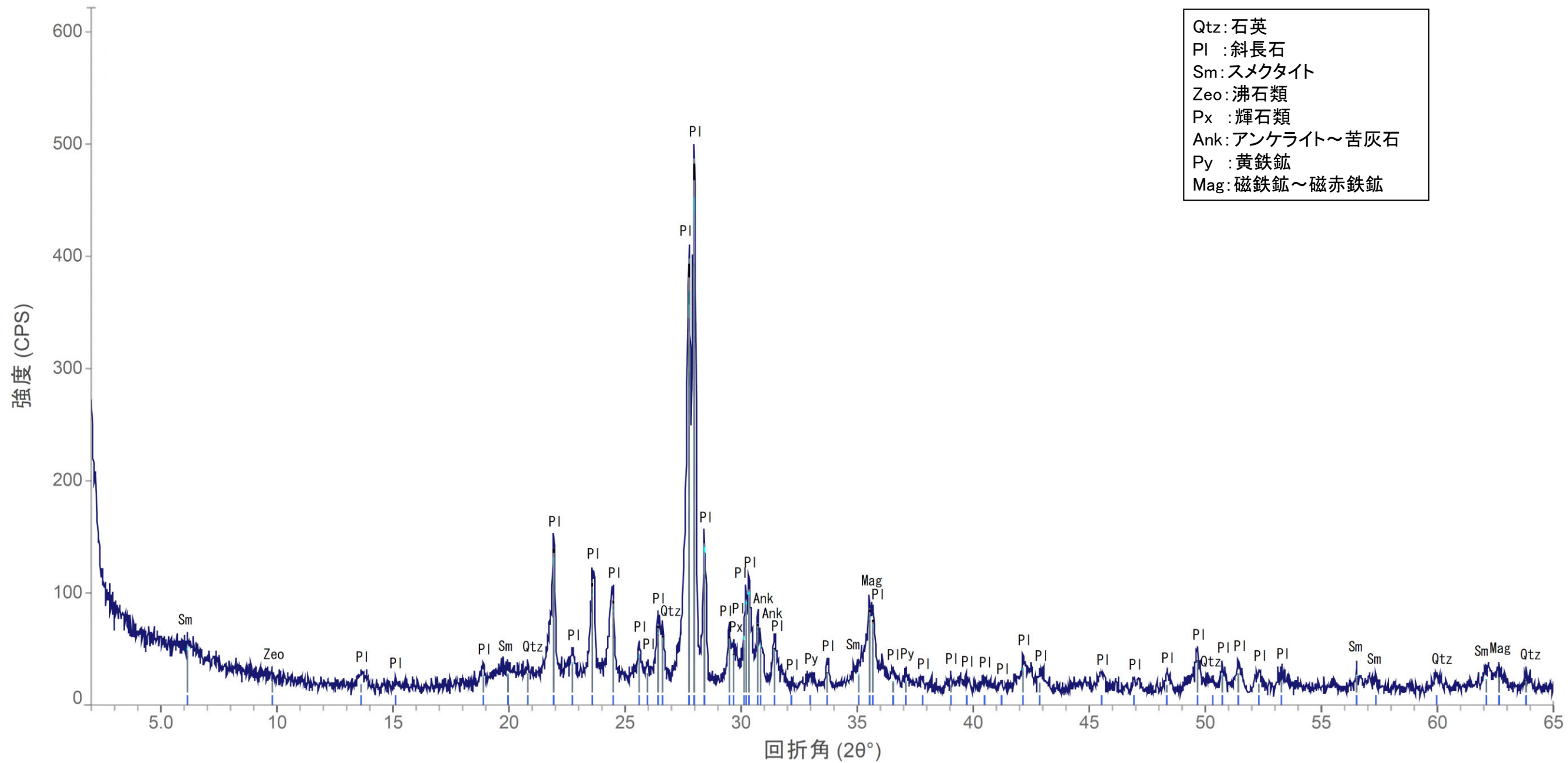
(8) 福浦断層北端付近 XRD分析

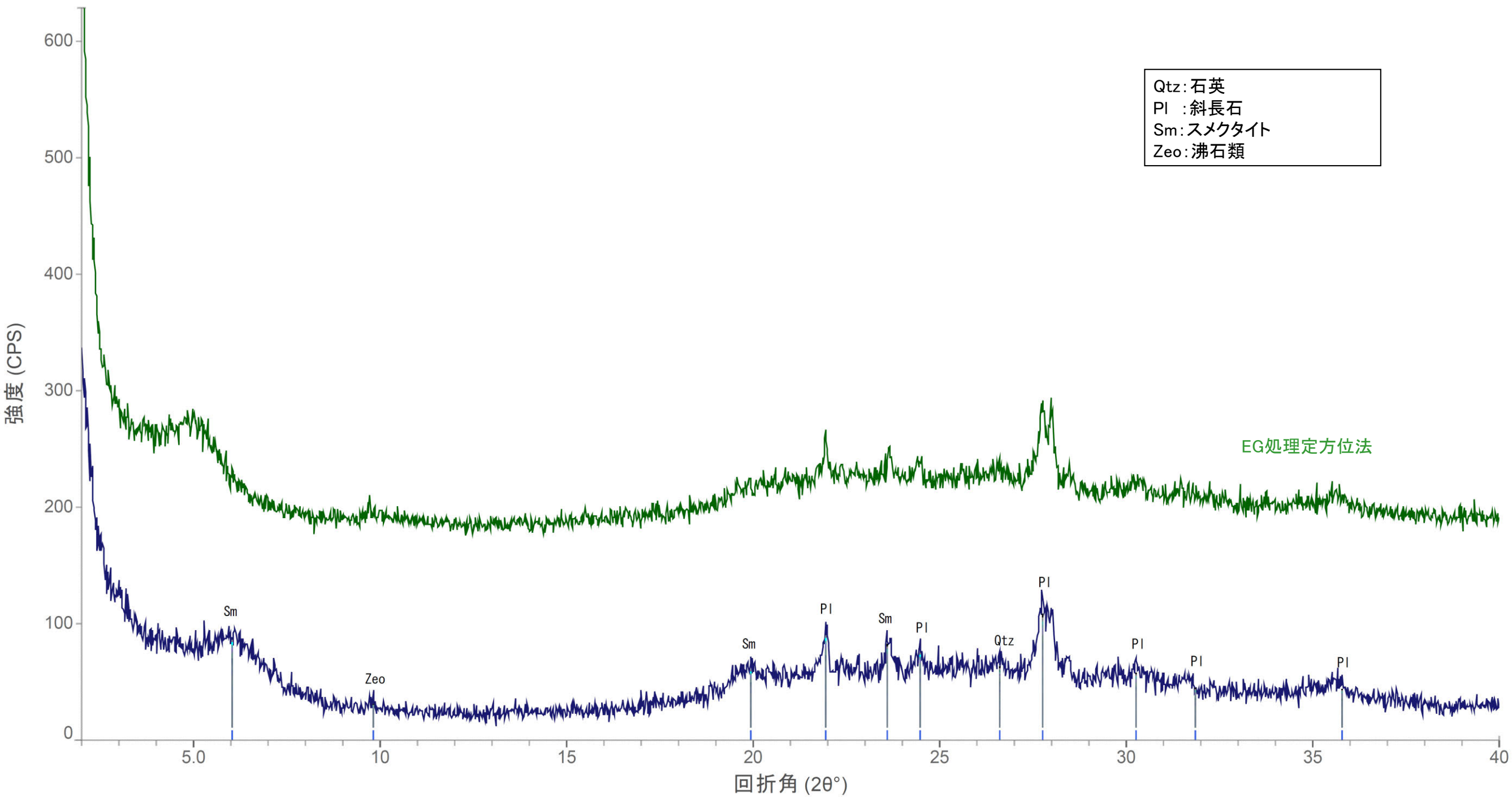




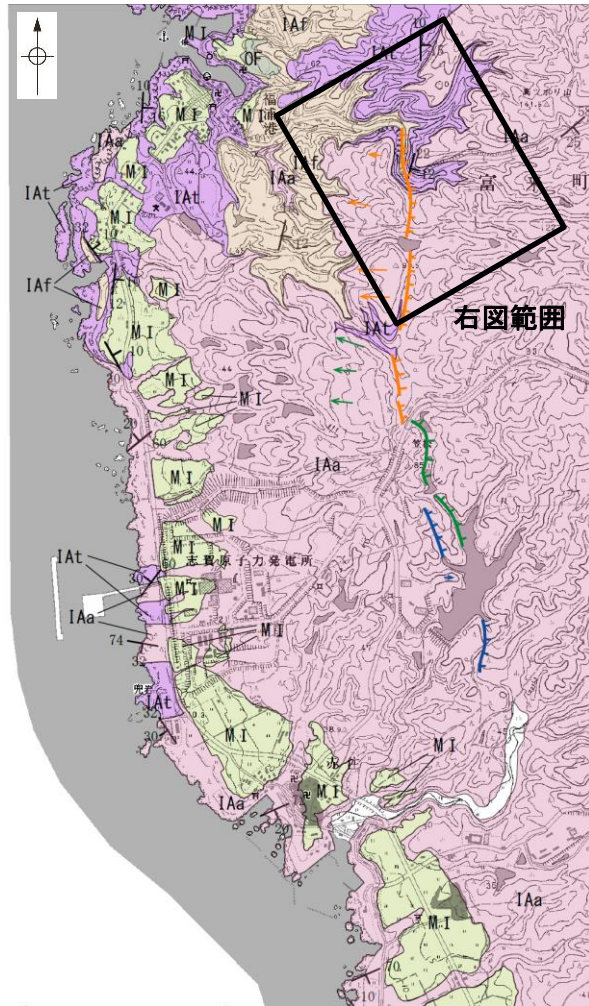






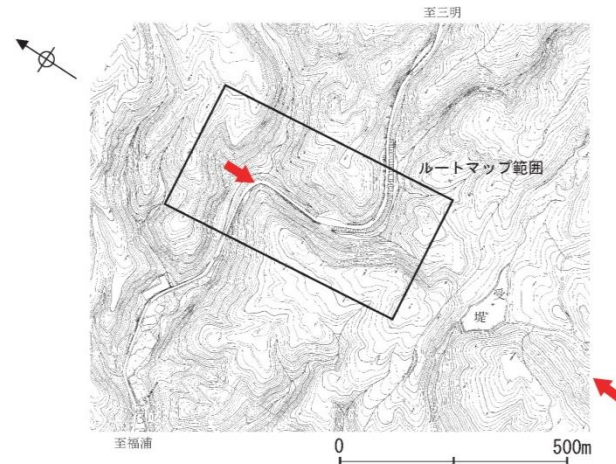


(9) 県道福浦一中島線沿い河床地表踏査(既往調査)



右図範囲

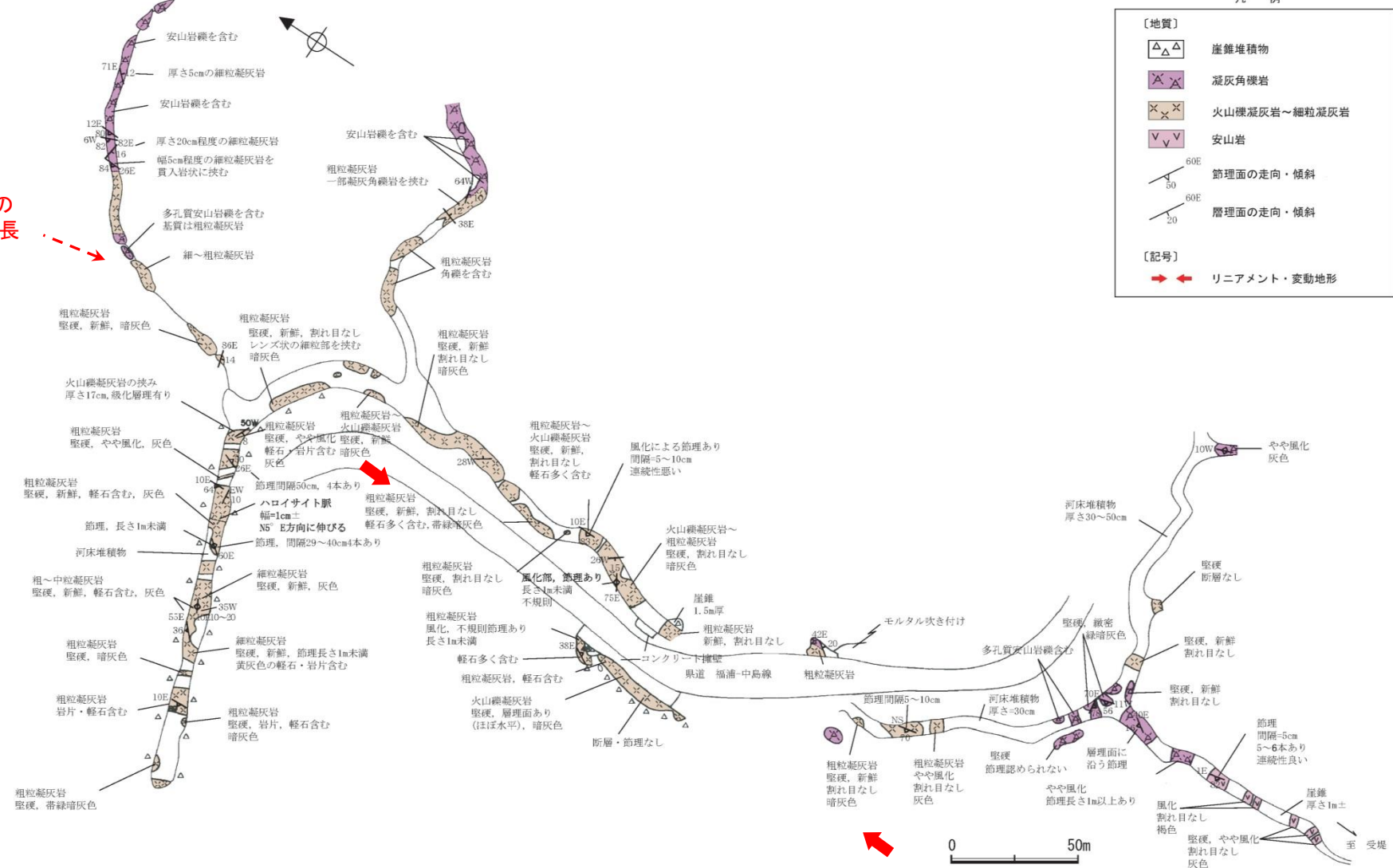
位置図



周辺地形図

・リニアメント・変動地形の北方延長に位置する県道福浦—中島線沿いの河床には、凝灰岩の露頭がほぼ連続して分布し、そこに断層は認められない。

断層aの南方延長



凡例

〔地質〕

- △△△ 崖錐堆積物
- ××× 凝灰角礫岩
- ××× 火山礫凝灰岩～細粒凝灰岩
- ▽▽▽ 安山岩
- 60E 節理面の走向・傾斜
- 60E 層理面の走向・傾斜

〔記号〕

- ← リニアメント・変動地形

〔リニアメント・変動地形〕

- Lb (変動地形である可能性がある)
- Lc (変動地形である可能性が低い)
- Ld (変動地形である可能性は非常に低い)

ケバは低下側を示す。
↓は地形面の傾斜の向きを示す。

地質時代	地層・岩石名
第四紀	AL 沖積層
	OF 古期扇状地堆積層
	MI 中段段丘I面堆積層
新第三紀	IAa 別所岳安山岩類 安山岩
	IAt 別所岳安山岩類 安山岩質火砕岩(凝灰角礫岩)
	IAf 別所岳安山岩類 安山岩質～デイサイト質火砕岩(凝灰岩)

県道福浦—中島線沿い河床地表踏査結果 (ルートマップ)

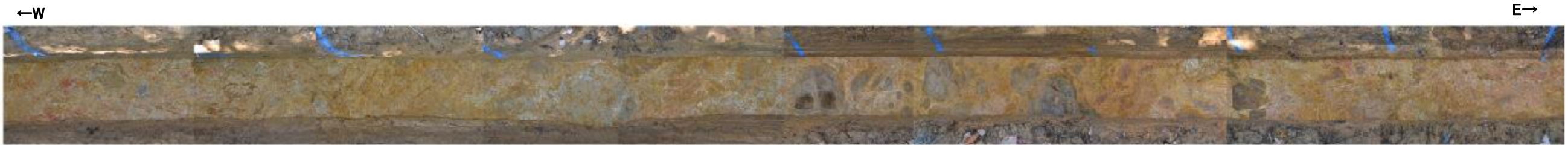
余白

(10) 赤住東部 表土はぎ調査

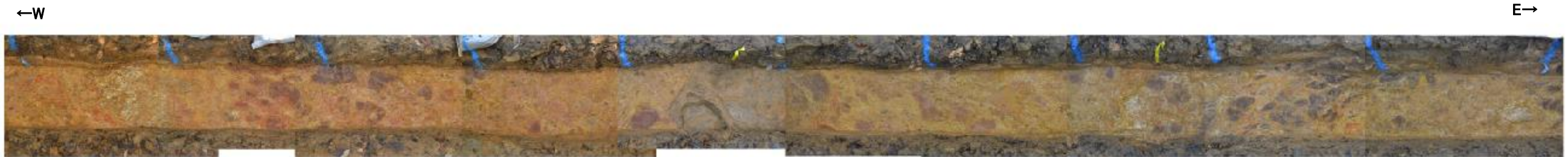
赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップF 写真①～④



写真①



写真②



写真③



写真④

赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップF 写真⑤～⑧

←W

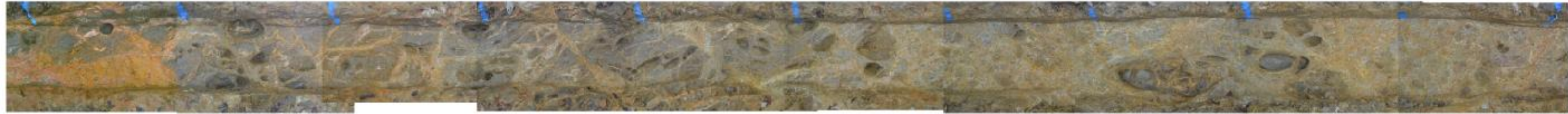
E→



写真⑤

←W

E→



写真⑥

←W

E→



写真⑦

←SW

NE→



写真⑧

赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップF 写真⑨～⑫



写真⑨



写真⑩



写真⑪



写真⑫

←W

E→



写真⑬

←W

E→



写真⑭

←W

E→



写真⑮

←SW

NE→



写真⑯

赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップF 写真⑰～⑳

←W

E→



写真⑰

←W

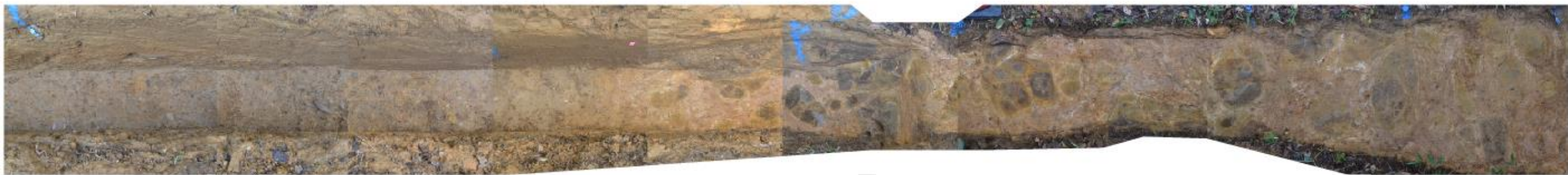
E→



写真⑱

←W

E→



写真⑲

←SW

NE→



写真⑳

赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップF 写真⑳～㉔

←W

E→



写真㉑

←W

E→



写真㉒

←W

E→



写真㉓

←SW

NE→



写真㉔

赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップF 写真⑳～㉔

←W

E→

写真㉔

←W

E→

写真㉕

←W

E→

写真㉖

←SW

NE→

写真㉗

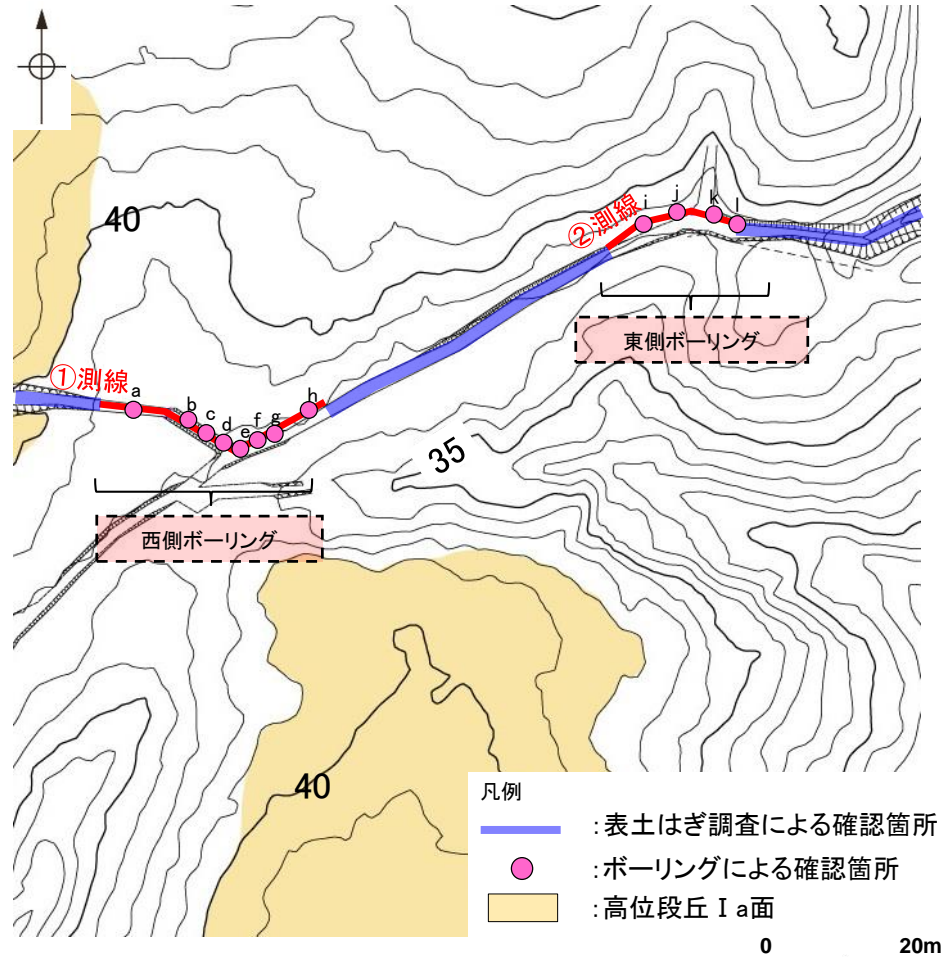
←W

E→

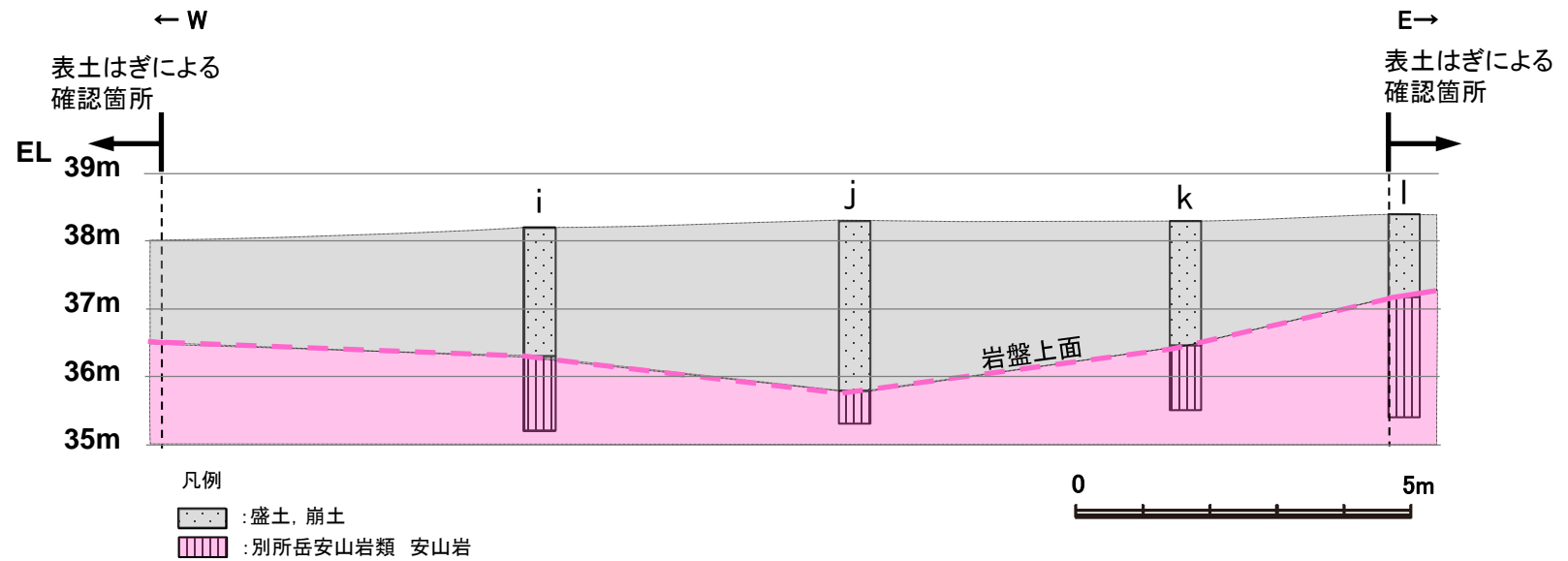


写真②9

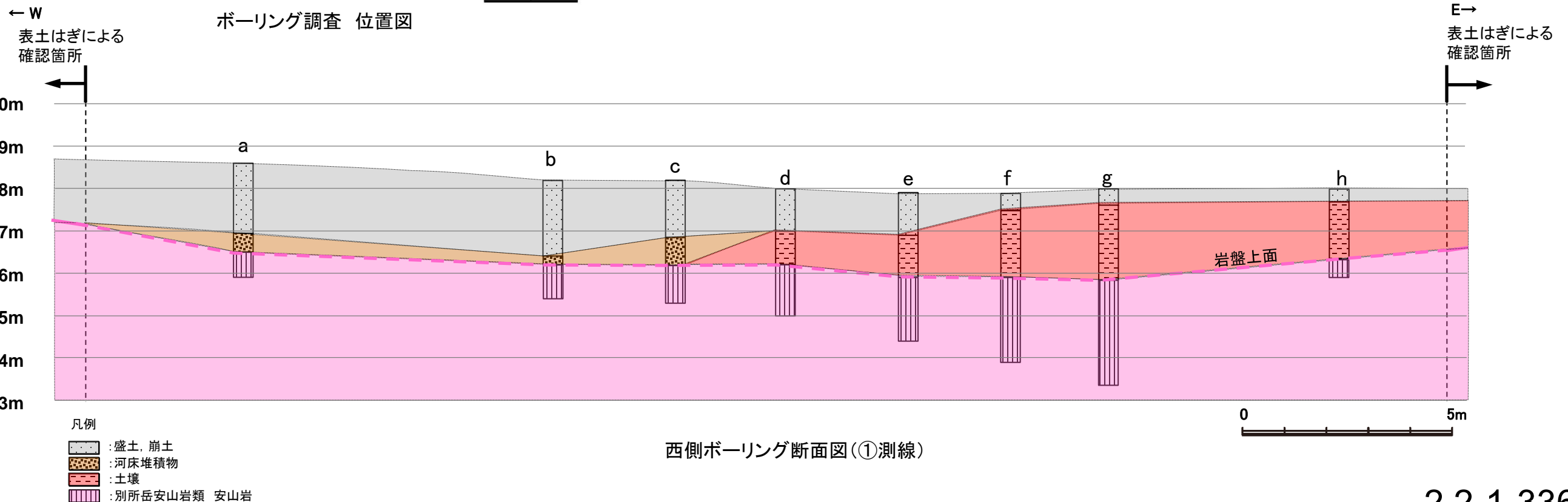
赤住東部 ボーリング調査 位置図, 断面図



○ボーリング調査(①測線・②測線)の結果, 岩盤上面はEL36~37m付近で, ほぼ水平である。
○ボーリングコア写真及び柱状図(a~l)を次頁以降に示す。



東側ボーリング断面図(②測線)



西側ボーリング断面図(①測線)

柱状図a

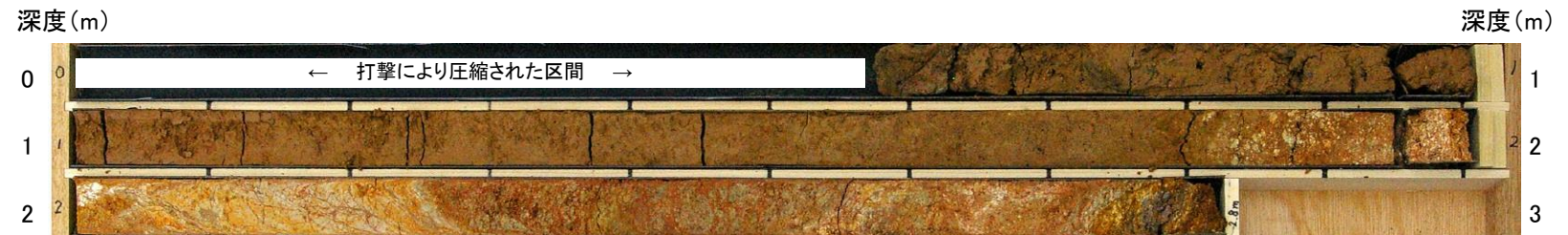
深度 (m)	柱状図	土壌層位 (名称)	土性あるいは地質名	色 調	土壌構造	腐植含量	硬密度	乾 湿	層界の性状	斑 紋	観 察 記 事
0.0 - 1.8		埋土									
1.8 - 2.0		河床堆積物?	砂礫	赤褐 (5YR 4/8)							礫は、安山岩や凝灰岩の亜円～亜角礫 (径 0.5-3cm) からなり、基質はシルトである。
2.0 - 2.5		別所岳安山岩類	安山岩	緑灰～暗緑灰 (10G 5/1-4/1)							全体的に強風化しており、ナイフで容易に削れるが、概ね原岩組織が確認できる。 深度 2.3m 付近には、幅 1cm 程度のギブサイト脈が見られる。 深度 2.0-2.4m には、まばらに赤褐色を呈す粘土が見られる。



コア写真a

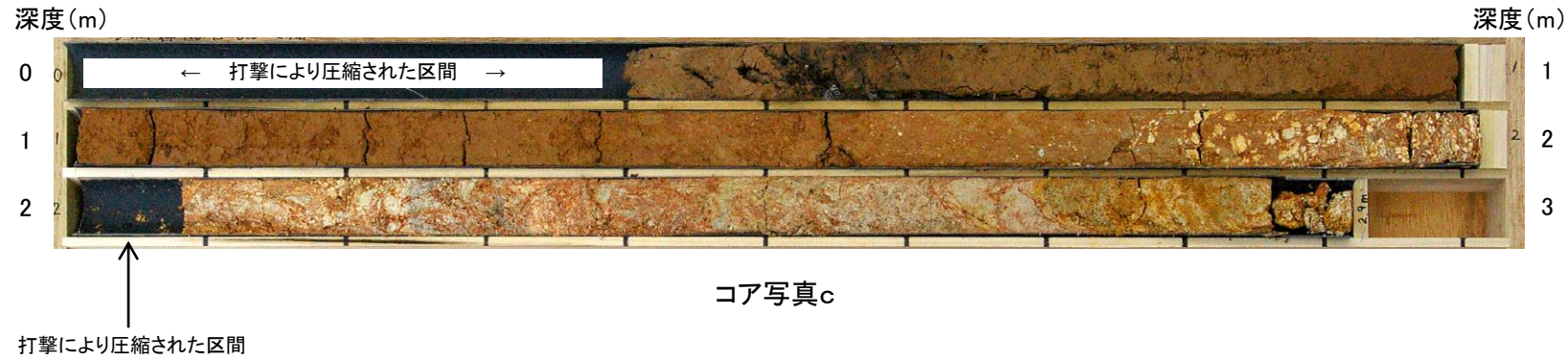
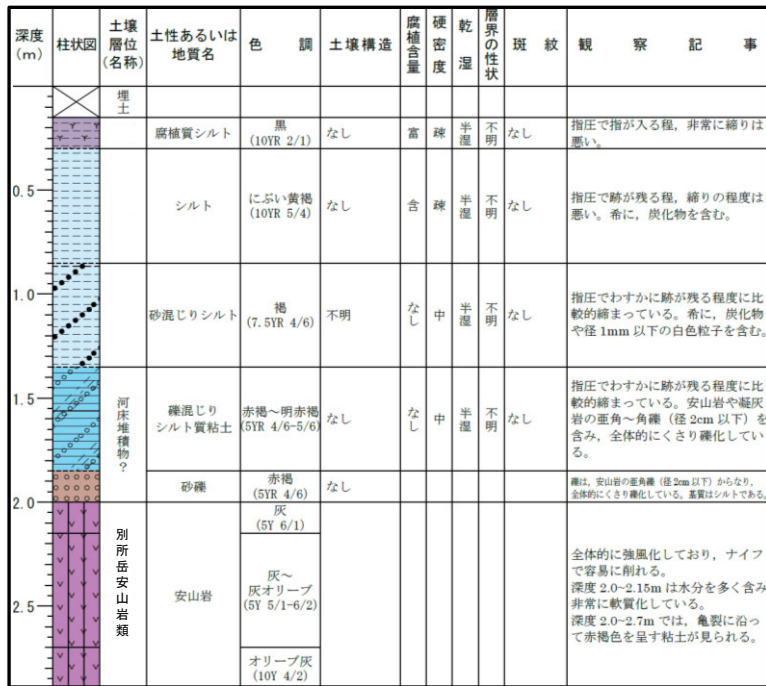
柱状図b

深度 (m)	柱状図	土壌層位 (名称)	土性あるいは地質名	色 調	土壌構造	腐植含量	硬密度	乾 湿	層界の性状	斑 紋	観 察 記 事
0.0 - 1.8		埋土		灰黄褐 (10YR 4/2) にぶい褐 (7.5YR 5/4) にぶい黄褐 (10YR 5/3) 暗黄褐 (2.5Y 4/2)							
1.8 - 2.0		河床堆積物?	砂礫	赤褐 (5YR 4/6)	なし						礫は、安山岩の亜角礫 (径 1cm 以下) からなり、基質はシルト質粘土である。
2.0 - 2.5		別所岳安山岩類	安山岩	灰 (5Y 6/1) 暗緑灰～暗オリーブ灰 (7.5G-5G 4/1)							全体的に強風化しており、ナイフで容易に削れる。亀裂に沿って赤褐色を呈す粘土が見られる。

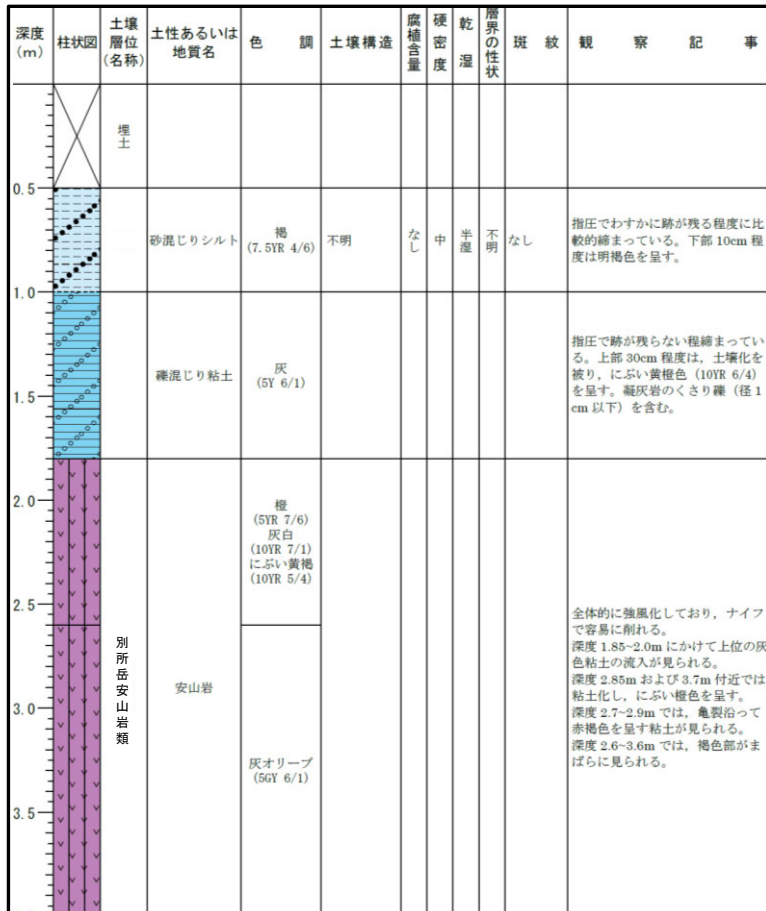


コア写真b

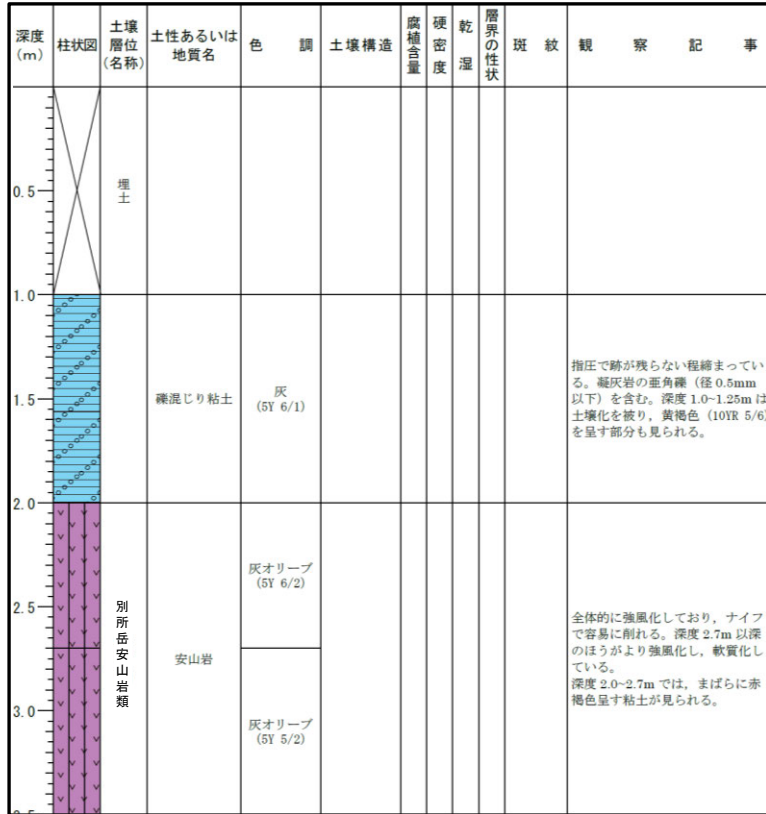
柱状図c



柱状図d



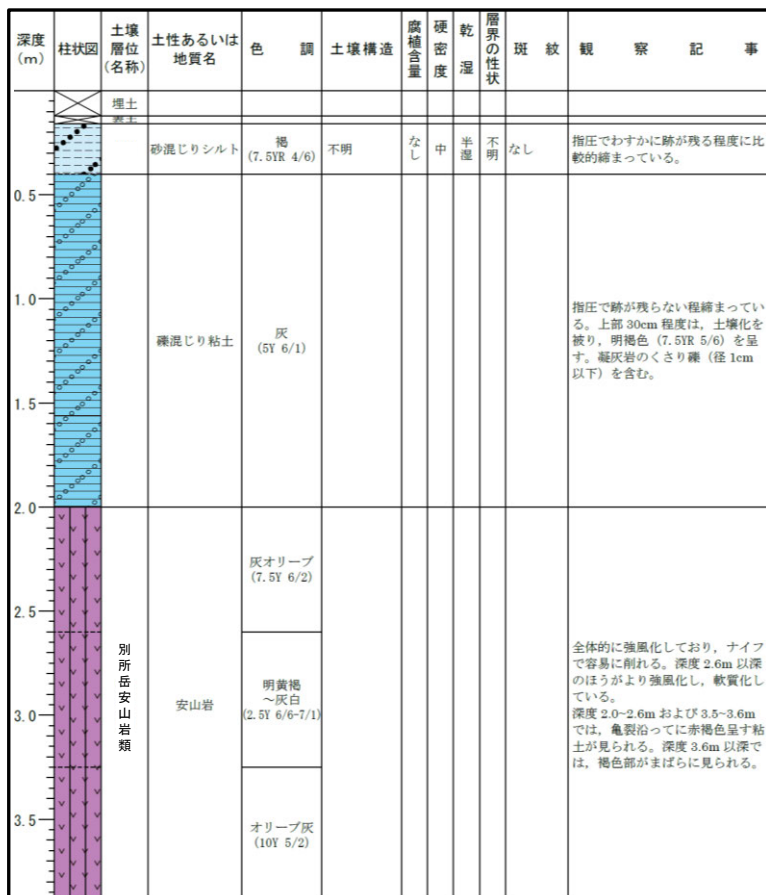
柱状図e



コア写真e

打撃により圧縮された区間

柱状図f



コア写真f

打撃により圧縮された区間

柱状図g

深度 (m)	柱状図	土壌層位 (名称)	土性あるいは地質名	色 調	土壌構造	腐植含量	硬密度	乾 湿	層界の性状	斑 紋	観 察 記 事
0.0		盛土									
0.0		崩積土	シルト質細粒砂	にぶい黄褐 (10YR 4/3)	なし	含	中	半湿	不明	なし	指圧でわずかに跡が残る程度に比較的締まっている。希に、凝灰岩の亜角礫を含む。
0.5			シルト質粘土	明赤褐 (2.5YR 5/6) まばらに灰 (5Y 5/1)							指圧で跡が残らない程締まっている。希に、凝灰岩の亜角礫を含む。
1.0				灰 (5Y 6/1)							
2.0			別所岳安山岩類	灰 (5Y 6/1)							
3.0			安山岩	灰オリーブ (7.5Y 5/2)							全体的に強風化しており、ナイフで容易に削れるが、深度4.1m以下は比較的新鮮で原岩組織が確認できる。 深度2.15~3.0mでは、亀裂部に赤褐色呈す粘土が見られる。 深度3.2~3.25mではギブサイト賦が見られる。 深度3.5~3.95mは水分を多く含み非常に軟質化している。
3.5			橙 (5YR 6/6)								
4.0			灰オリーブ (5Y 5/3)								
4.5			緑灰 (7.5GY 6/1)								



打撃により圧縮された区間

コア写真g

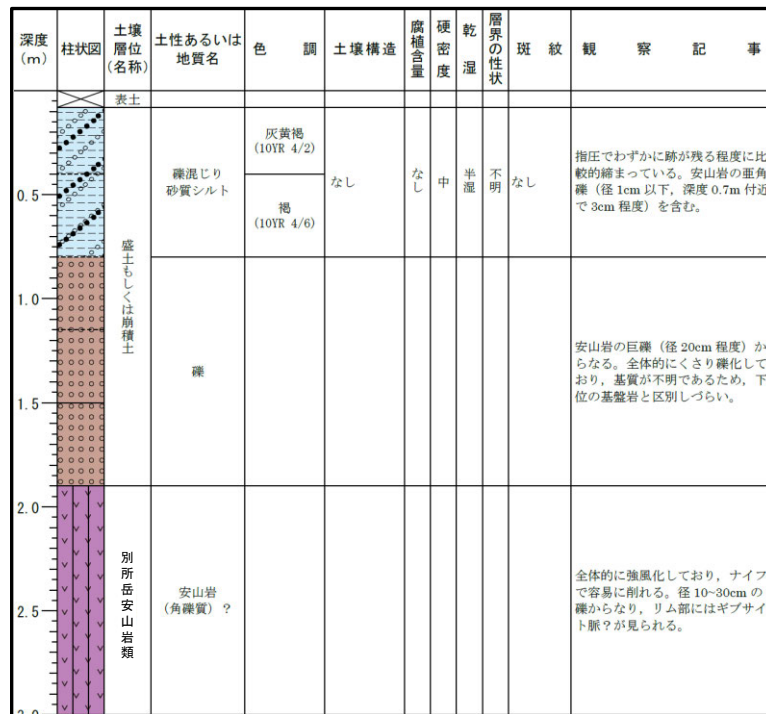
柱状図h

深度 (m)	柱状図	土壌層位 (名称)	土性あるいは地質名	色 調	土壌構造	腐植含量	硬密度	乾 湿	層界の性状	斑 紋	観 察 記 事
0.0		表土	腐植混じり砂質シルト	暗褐 (10YR 3/4)	なし	含	中	半湿	不明	なし	指圧でわずかに跡が残る程度に比較的締まっている。
0.0		崩積土	礫混じりシルト質細粒砂	にぶい黄褐 (10YR 4/3)	なし	含	中	半湿	不明	なし	指圧でわずかに跡が残る程度に比較的締まっている。凝灰岩の亜角礫 (径0.5cm以下) を含む。
0.5			シルト質粘土	褐 (10YR 4/4)		なし	密	半湿	不明	なし	指圧で跡が残らない程締まっている。希に、凝灰岩の亜角礫を含む。下部10cm程、灰黄褐色を呈す。
1.0			礫混じりシルト質粘土	明赤褐 (2.5YR 5/6) まばらに灰白 (10YR 7/1)							指圧で跡が残らない程締まっている。深度0.6~1.0mは、明赤褐色を呈し、赤味が強い部分は赤色を呈す。深度1.0~1.65mは、主に灰色で、深度1.0~1.2mでは橙褐色を呈す部分も見られる。
1.5				灰 (5Y 6/1)							
2.0			別所岳安山岩類	にぶい黄~オリーブ黄 (2.5-5Y 6/3)							全体的に強風化しており、ナイフで容易に削れる。深度1.7~1.9mにかけて上位層の灰色粘土の流入が見られる。

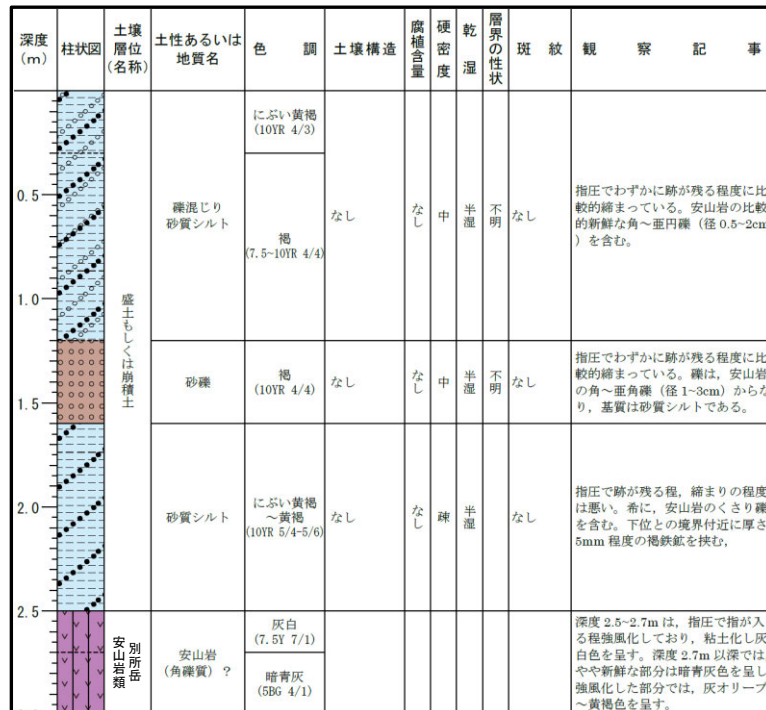


コア写真h

柱状図i



柱状図j



柱状図k

深度 (m)	柱状図	土壌層位 (名称)	土性あるいは地質名	色 調	土壌構造	腐植含量	硬密度	乾 湿	層界の性状	斑 紋	観 察 記 事
0.5	盛土もしくは崩積土	砂質シルト		黒褐 (2.5Y 3/2)	なし	なし	中	半湿	不明	なし	指圧でわずかに跡が残る程度に比較的締まっている。
				暗褐〜褐 (10Y 3/4-4/4)							
1.0		礫混じり砂質シルト		暗灰褐 (2.5Y 4/2)	なし	なし	中	半湿	不明	なし	指圧でわずかに跡が残る程度に比較的締まっている。安山岩の亜角礫 (径 0.5-3cm) を含み、下部ほど礫径は大きくなる。
1.5		砂礫		黒褐 (2.5Y 3/2)	なし	なし	密	半湿	不明	なし	指圧で跡が残らない程、締まっている。礫は、安山岩の角〜亜角礫 (径 3cm 以下) からなり、基質は砂質シルトである。
2.0	別所岳安山岩類	砂質シルト		褐 (10YR 4/6)	なし	なし	密	半湿	不明	なし	指圧で跡が残らない程、締まっている。希に、安山岩のくさり礫 (径 1cm 以下) を含む。厚さ 6mm 程度の根鉄鉱を 2 枚挟む。
2.5		安山岩 (角礫質) ?		オリーブ灰 (10Y 5/2-4/2)							全体的に強風化しており、ナイフで容易に削れる。やや新鮮な部分はオリーブ灰色を呈し、その周辺は粘土化し、黄褐色 (10YR 5/8) を呈す。

深度 (m)



深度 (m)

コア写真k

柱状図l

深度 (m)	柱状図	土壌層位 (名称)	土性あるいは地質名	色 調	土壌構造	腐植含量	硬密度	乾 湿	層界の性状	斑 紋	観 察 記 事
0.5	盛土もしくは崩積土	礫混じり砂質シルト		灰黄褐 (10Y 4/2)	なし	なし	中	半湿	不明	なし	指圧でわずかに跡が残る程度に比較的締まっている。安山岩のくさり礫 (径 1-3cm) を含む。深度 0.6-1.1m は、安山岩の巨礫である。
1.0		礫		黒褐 (2.5Y 3/1)							
1.5		礫混じり粘土		にぶい褐 (7.5YR 5/3)	なし	なし	中	半湿	不明	なし	指圧でわずかに跡が残る程度に比較的締まっている。凝灰岩?のくさり礫を含む。
2.0	別所岳安山岩類			にぶい褐 (7.5YR 5/3)							指圧でわずかに跡が残る程度に比較的締まっている。安山岩のくさり礫 (径 4cm 以上) からなり、基質は土壌化し、粘土化している。
2.5		安山岩 (角礫質) ?		にぶい橙 (7.5YR 6/4)							全体的に強風化しており、ナイフで容易に削れる。安山岩のくさり礫 (径 5-15cm 以上) からなる。

深度 (m)



深度 (m)

コア写真l

赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップG 写真①～⑤

←SW

NE→



写真①

←SW

NE→



写真②

←SW

NE→



写真③

←SW

NE→



写真④

←SW

NE→



写真⑤

赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップG 写真⑥～⑩

←SW

NE→



写真⑥

←SW

NE→



写真⑦

←SW

NE→



写真⑧

←SW

NE→



写真⑨

←SW

NE→



写真⑩

赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップG 写真⑪～⑮

←SW

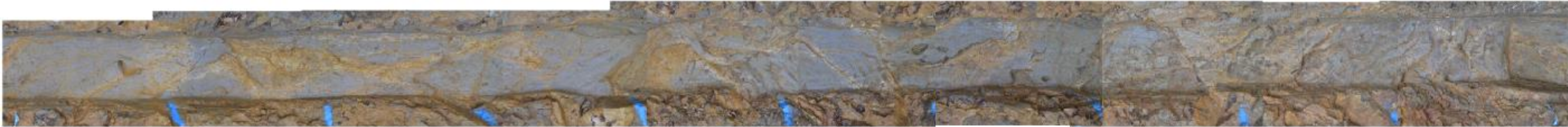
NE→



写真⑪

←SW

NE→



写真⑫

←SW

NE→



写真⑬

←SW

NE→



写真⑭

←SW

NE→



写真⑮

赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップG 写真①⑥～②①

←SW

NE→



写真①⑥

←SW

NE→



写真①⑦

←SW

NE→



写真①⑧

←SW

NE→



写真①⑨

←SW

NE→

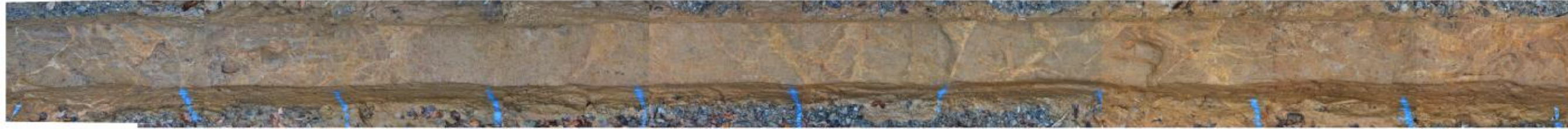


写真②①

赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップG 写真⑳～㉔

←SW

NE→



写真㉑

←SW

NE→



写真㉒

←SW

NE→



写真㉓

←SW

NE→



写真㉔

←SW

NE→



写真㉕

赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップG 写真②⑥～②⑦

←SW

NE→



写真②⑥

←SW

NE→

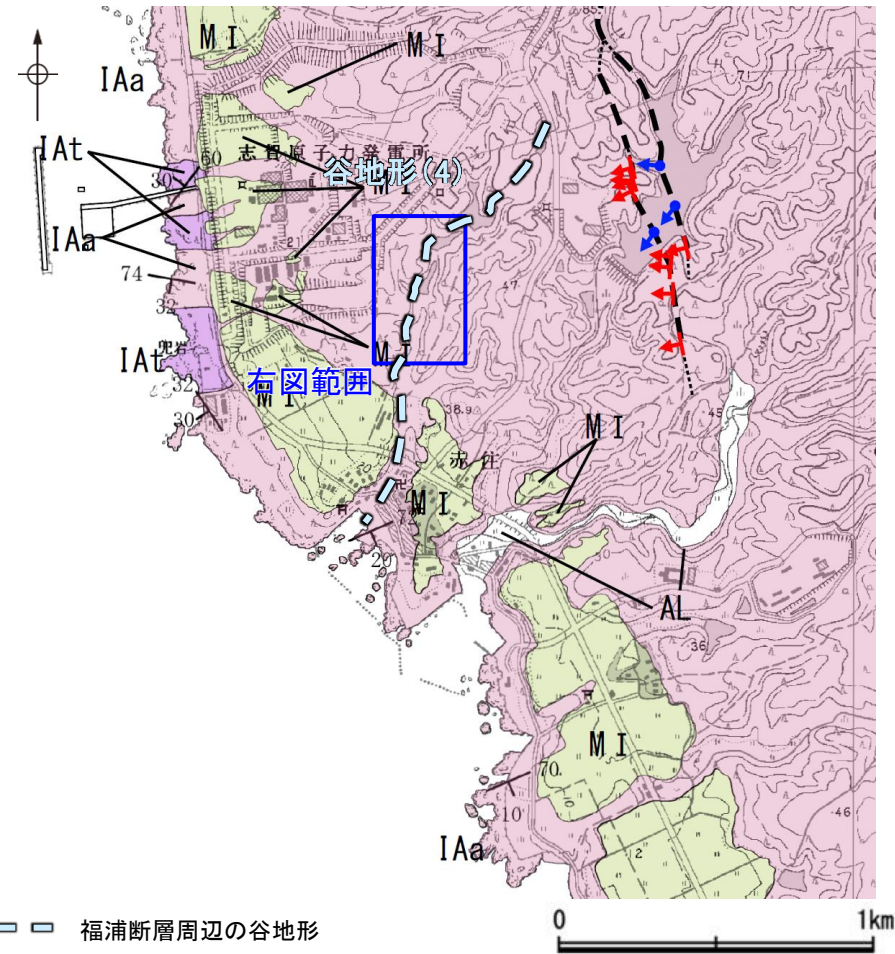


写真②⑦

(11) 福浦断層周辺に認められる谷地形 表土はぎ調査

福浦断層周辺に認められる谷地形 表土はぎ調査 写真位置図

○谷の延長位置を横断して表土はぎ調査を実施した結果、別所岳安山岩類の安山岩及び凝灰角礫岩が連続して分布し、それらは非破碎であり、断層は認められない。
○全線の写真を次頁以降に示す。



位置図

【地質】

地質時代	地層・岩石名
第四紀 更新世	AL 沖積層
第四紀 更新世	OF 古期扇状地堆積層
	MI 中位段丘 I 面堆積層
第三紀 中新世	IAa 別所岳安山岩類 安山岩
	IAAt 別所岳安山岩類 安山岩質火砕岩 (凝灰角礫岩)
	IAf 別所岳安山岩類 安山岩質火砕岩 (凝灰岩)

